

事業番号

2023 - 文科 - 22 - 0268

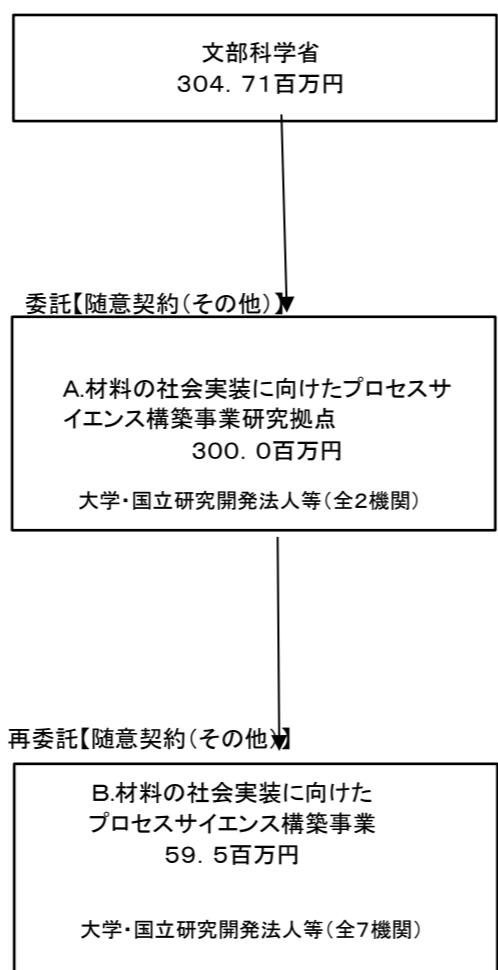
		令和5年度行政事業レビューシート			(文部科学省)		
事業名	材料の社会実装に向けたプロセスサイエンス構築事業			担当部局	研究振興局	作成責任者	
事業開始年度	令和元年度	事業終了(予定)年度	令和7年度	担当課室	参事官(ナノテクノロジー・物質・材料担当)	参事官(ナノテクノロジー・物質・材料担当) 宅間 裕子	
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	第5期科学技術基本計画(平成28年1月閣議決定) 第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月閣議決定)		
政策	9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応			主要経費	科学技術振興費		
施策	9-1 未来社会を見据えた先端基盤技術の強化						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221012-mxt_kanseisk01-000024706-07.pdf 革新的な機能を有するものの社会実装に繋がっていない素材について、①大学等が学理・サイエンスを構築すること、②構築された学理・サイエンスを活用し、企業が社会実装に向けた技術開発を行うための大学等と企業の連携体制(産学官からの相談先)を構築することを目的としている。						
事業の目的(5行程度以内)							
現状・課題(5行程度以内)	材料開発には、革新的な材料・デバイスの創出を目指すマテリアルサイエンスと、材料創製プロセスをはじめとした工学基盤のプロセスサイエンスの両方が不可欠である。近年、社会で使われる材料・デバイスの高度化・複雑化や、クリアすべき条件が複雑化していることから、社会実装のためにプロセスが乗り越えるべきハードルが高くなっている。そのため、社会実装のための課題を解決するべく、サイエンスに立ち返ることが必要であり、特にプロセスサイエンスの深掘りが求められている。						
事業概要(5行程度以内)	プロセスサイエンスの効果的な発展が見込まれる、①ナノ材料の界面・構造制御プロセスサイエンス分野及び②全固体電池を実現する接合プロセス技術革新分野について、PDの強力なリーダーシップのもと、大学・国立研究開発法人等に、マテリアルの製造プロセスにおける諸現象の解明から、学理・サイエンスに基づく製造プロセスの提案までを一気通貫で取り組む体制を構築する。構築された体制は、プロセス技術上の課題解決のための産学官からの相談先としても機能し、民間企業等における社会実装に向けた技術開発に貢献するとともに維持・発展し、我が国全体のマテリアル分野の社会実装を加速することに貢献する。						
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/content/20211004-mxt_nanozai-000016583_1.pdf						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の状況	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求	
		当初予算(A)	306	305	305	305	305
		補正予算(B)	-	▲ 0	-	-	-
						-	-
						-	-
						-	-
						-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	▲ 0.2	-	-	-
計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	306	304.8	305	305	305		
執行額(G)	303	303	304	-	-		
執行率(%) =(G)/(F)	99%	99%	100%	-	-		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	99%	99%	100%	-	-		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	研究開発推進費			-		
	(目)	科学技術試験研究委託費	300	300			
	(目)	非常勤職員手当	3	3			
	(目)	諸謝金	1	1			
	(目)	委員等旅費	1	0			
	(目)	庁費	0	0			
	その他		0	0			
計(A)		305	305				

事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名称	-		
	URL	-		
	該当箇所	-		
事業所管部局による点検・改善				
点検結果	アクティビティ①及び②について、いずれも毎年度増加傾向にあり、効果的かつ効率的に実施されており、産学官が連携した体制を構築し、プロセス上の課題を解決するための学理・サイエンス基盤としてプロセスサイエンスの構築が行われている。国費投入の必要性、事業の効率性及び事業の有効性の観点で点検を行い、国の重要な取組として位置づけられているマテリアル分野の研究開発を戦略的に推進すべく、効率的かつ効果的に事業が運営されていることを確認した。	目標年度における効果測定に関する評価(令和8年度実施) - -		
改善の方向性	R3年度に実施したステージゲート評価および中間評価での有識者、第三者委員会からの意見を踏まえ、より効率よくプロジェクトが推進するよう研究体制の見直しやテーマの集約、計画の見直しを実施することとした。引き続き、プロセスサイエンスの体系化を進めるとともに、連携する企業からの膨大なデータが適切な取り扱いのもと共有され、新たな価値創造に有効に利用される枠組みが構築されることが求められる。			
外部有識者の所見				
外部有識者による点検対象外				
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見				
現状通り	アウトカム、アウトプットについて毎年度増加傾向にあり順調に推移しているため、点検・改善結果を踏まえ、特段の見直しを要しないものと考えられる。			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
現状通り	-			
過去に受けた指摘事項と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ			
	上記への対応状況			
	その他の指摘事項			
	上記への対応状況			
備考				
-				

関連する過去のレビューsheetの事業番号									
平成23年度									
平成24年度									
平成25年度									
平成26年度									
平成27年度									
平成28年度									
平成29年度									
平成30年度	231								
令和元年度	文部科学省	-			0224				
令和2年度	文部科学省				0227				
令和3年度	2021	文科	20	0247					
令和4年度	2022	文科	21	0246					

※令和4年度実績を記入。

なお金額は、単位未満四捨五入をしていることから、合計が一致しないことがある。

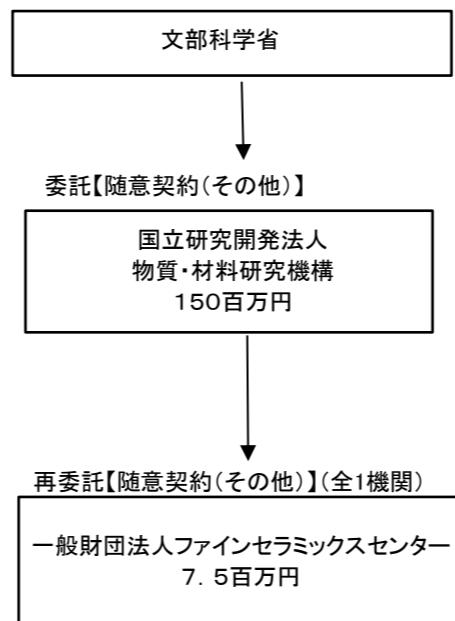


非常勤職員手当 : 2.73百万円
諸謝金 : 0.45百万円
職員旅費 : 0.06百万円
委員等旅費 : 0.74百万円
庁費 : 0.73百万円
合計 : 4.71百万円
を含む

代表例

(A.材料の社会実装に向けたプロセスサイエンス構築事業における国立研究開発法人物質・材料研究機構への支出例)

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位:百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」において プロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	物品費	設備備品費、消耗品費	53	人件費	人件費、謝金	7.1
	人件費	人件費、謝金	48.6	物品費	設備備品費、消耗品費	2.1
	その他	外注費、その他諸経費等	11.7	その他	外注費、その他諸経費等	0.7
	旅費	出張旅費	2.2	旅費	出張旅費	0.3
	間接経費	直接経費の30%	34.6	間接経費	直接経費の30%	3
	計		150.1	計		13.2
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契 約 方 式 等	入 札 者 数 (応 募 者 数)	落 札 率	一 者 応 札・一 者 応 募 又 は 競 争 性 の な い 随 意 契 約 と な つ た 理 由 及 び 改 善 策 (支 出 額 10 億 円 以 上)
1	国立研究開発法人物質・材料研究機構	2050005005211	全固体電池を実現する接合プロセス技術革新	150	随意契約(企画競争)	26	-	
2	国立大学法人東北大学	7370005002147	ナノ材料の界面・構造制御プロセスサイエンス	150	随意契約(企画競争)	26	-	

B

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契 約 方 式 等	入 札 者 数 (応 募 者 数)	落 札 率	一 者 応 札・一 者 応 募 又 は 競 争 性 の な い 随 意 契 約 と な つ た 理 由 及 び 改 善 策 (支 出 額 10 億 円 以 上)
1	国立大学法人東京大学	5010005007398	ナノ材料の界面・構造制御プロセスサイエンス	13	随意契約(その他)	-	-	
2	一般財団法人ファインセラミックスセンター	1180005014415	全固体電池の界面接合技術開発	7.5	随意契約(その他)	-	-	
3	国立研究開発法人産業技術総合研究所	7010005005425	ナノ材料の界面・構造制御プロセスサイエンス	6.8	随意契約(その他)	-	-	
4	学校法人日本大学	5010005002382	ナノ材料の界面・構造制御プロセスサイエンス	6.5	随意契約(その他)	-	-	
5	学校法人早稲田大学	5011105000953	ナノ材料の界面・構造制御プロセスサイエンス	6.5	随意契約(その他)	-	-	
6	学校法人東北工業大学	8370005001404	ナノ材料の界面・構造制御プロセスサイエンス	6.5	随意契約(その他)	-	-	
7	国立大学法人東京農工大学	1012405001281	ナノ材料の界面・構造制御プロセスサイエンス	6.5	随意契約(その他)	-	-	
8	一般財団法人ファインセラミックスセンター	1180005014415	ナノ材料の界面・構造制御プロセスサイエンス	6.2	随意契約(その他)	-	-	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載						チェック		